



お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.18

(有)今泉大伸



〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚62-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
<http://www.imaizumidaishin.co.jp>



このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

4月になり、春・入学・入社など、新しい息吹が感じられるようになりました。

2月、3月は、とにかく戦争のような忙しさで日曜日もとれない時期が続きました。

年度も変わり、またガンバルつもりです。

今回ニュースレターの発刊が遅れたことをお詫び申し上げます。

ニュースでは景気が好転しているように聞かれますが、よくよく現状を聞いてみると、忙しい所とそうでない所の選別がより明確になっているようです。

経営とは面白いもので、忙しい所にはより仕事が集まり滞る所には仕事がない、このような事はよくあるものです。

でも、必ず解決策はあると思っています。

しかし、その為には動いて探すしかないのかなーと、最近思いました。

またこの件については技術の時間でお話します。



会社の歳時記

二月、三月と当社も駆け込みで日曜日無しの日々が続きました。

某メンテナンスメーカーさんの油圧ジャッキを 300 台製作しました。

納期的には厳しく一ヶ月もなく、実質 25 日で仕上げる事となりました。

毎日夜 10 時まで...二月は特に肌寒かったのを覚えております。

従業員もよく手伝ってくれて、三月にはなんとか出荷。

また同時期に某製鉄メーカーさんからの物件もあった為、ジャッキの材料が入荷される前に製鉄メーカーさんの部品をつくり、ジャッキが入ってからはジャッキの製作に、そして少し外注に流れるとその間に再度加工を変更...という具合。



この時ばかりは分身が欲しかったですね!!

ただ最近になって思うのですが、一人は一人でしかないのかもしれませんが。そのような事を考えつつ、自分の未熟さに頭を痛めている次第です。

だから、最近では多くの本を読むことをしています。また、考えることも極力するよう意識しております。

自分を変化させる(考え方を修正する)ということは、本当に難しいものだをつくづく思ったものです。

下記の写真が今回製作させて頂いた物件です。

自分の考えを見直すきっかけになった二ヶ月でした。



「とにかく動け、動け、新人君」

以前ですが、中日・落合前監督と森繁和ヘッドコーチを交えたJ SPORTSの番組を見ました。面白かったです!!

その前に落合前監督と野村 克也元監督の対談も見たのですが、気付いたことは二人ともやり方は違うだけで、考える方向は一緒だということです。

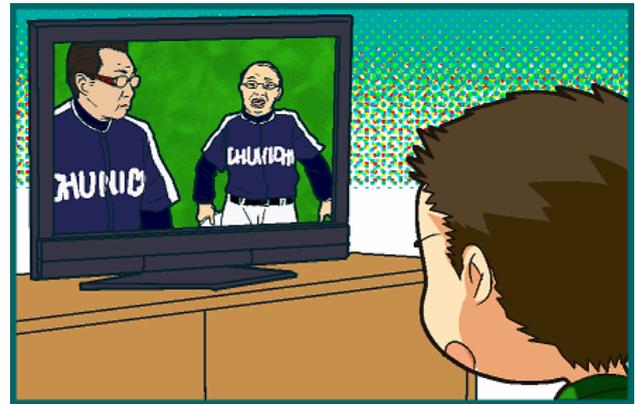
「自分で考える事!!」これが二人の共通している事らしいのです。

野村さんはミーティングを通して考える事の大切さを教え、落合さんはとにかく体を動かすことによって考えさせる。その為に他の球団以上に練習させるのだそうです。

これは私事で申し訳ないのですが、新人3人を入れてみてまた教えてみて、人には二つのタイプがあることに気が付きました。

私はこのことに気が付いておりませんでした。もう少し早く気付けばと思いました。

というのは「理屈がわかると動けるタイプの人」と「とにかく、体を動かすタイプの人」、このタイプがいるようだという事です。



「理屈が先に来る人」は、よく質問してきます。その時は「理屈を教える」。当の本人は、納得すればスムーズに動きます。

しかし、「身体を動かすタイプの人」は、とにかくイヤな仕事でもやらせる、理屈は後、仕事を与え続けるしかないのです。

もっと早く気づいていればと思いました。

ただ、伸びる過程では、天狗になったりもします。

そのあたりどうするか、経営者の力量が問われる所かもしれませんね!

以上、技術の時間は「とにかく動け、動け、新人君」でした。



ちょっと コーヒータイム

今回のちょっとコーヒータイムは、面白い本に図書館で出会ったので、そちらの紹介をしたいと思います。

本の題名は「歴史の使い方」堺屋 太一著。

幕末、日本国内が混乱しているにもかかわらず、アメリカ、フランス、オランダ、イギリスなどの干渉がありませんでした。この本を読むと、その実情がよくわかります。

実は同時期、アメリカは南北戦争が勃発した時期であり、フランスは国内で内乱、オランダは戦争で負けて風前の灯だった。唯一イギリスだけが、内乱から立ち直りつつありました。

これを読んだ時、これは本当に偶然でしかないのだと思いました。

だって、アヘン戦争の時は、英・米・仏・蘭によって、ことごとく清が干渉されたのに対し、日本はかろうじて難を逃れたのですから。



『歴史の使い方』
著者・堺屋 太一
日経ビジネス人文庫



ここでグローバル化と、今皆さんは言いますが、江戸時代でもグローバル化の影響は日本にもあったのです。

そしてグローバル化を無視した結果、苦しんだのが徳川吉宗であったことは知られていないと思います。

それは米の凶作等々の打開策としては、コメの貿易が大切であったのにできなかった。その当時、東南アジアは豊作であったようです。

という、世界はいつも繋がっている。そのことを気づかせてくれる一冊でした。

お時間がありましたらぜひお読みください。

黒船のときも…

- 1842 英、アヘン戦争
- 1846 米、メキシコとの戦争に勝つ。
(このころインドで対英戦争続く)
- 1851～1864 中国で太平天国の乱起こる。
- 1853 ペリー、浦賀に来航。
- 1854～1856 クリミア戦争
(英・仏・トルコ対ロシア)起こる。
- ペリー、再来航。日米和親条約結ばれる。

徳川吉宗といいますが
強いですが…
イメージが

えーと…